

## 京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ（仮称）の設置に関する 基本的な考え方（案）

【最終案ではなく、会員皆様のご意見もお聞かせいただきながら作成してまいります。】

### （設置の目的）

地方独立行政法人京都市産業技術研究所（以下「研究所」という。）は、一層の異業種間の横断的な活動の支援を通じたイノベーションを創出するための異業種交流のハブの具現化を目的として、研究所のユーザーをはじめとする多様なものづくり企業、ものづくり企業を支える外部機関、大学等により構成するコミュニティを設置する。

### （ユーザーズコミュニティで行う事業）

- （1）会員相互並びに若手技術者や学生との交流事業
- （2）産業技術の創出・改良・発展に必要な事業
- （3）ものづくり文化の継承・発展に必要な事業
- （4）会員の行う各種事業の共催・後援・助成
- （5）その他本会の目的達成に必要な事業

#### （例）

- ①異業者交流会、勉強会  
・連携成功事例紹介 ・会員企業紹介 ・評価技術講習会 など
- ②ビジネスマッチング  
・中信ビジネスフェアや MOCAD ギャラリーへの出展 など
- ③新たな分野の研究会の設置

### （運営）

ユーザーズコミュニティの活動は、任意団体としてではなく、京都市産業技術研究所の事業として実施する。

### （構成）

#### 1. 会員

- （1）一般会員（中小企業など）
- （2）団体会員（現在の10つの研究会）

その他の会員：ユーザーズコミュニティ活動を応援していただき、幅広い支援に繋がります。

- （3）法人会員（組合など）
- （4）特別会員（大学など）
- （5）協賛会員（大企業、産業支援機関、金融機関など）

#### 2. アドバイザリーボード

ユーザーズコミュニティの事業推進に当たってご助言やアドバイスをいただくためにアドバイザーを置き、適宜アドバイザリーボードを開く。

- ・アドバイザー（現ものづくり協力会の役員、またはそれに準じる方を想定）

#### 3. 企画委員会

ユーザーズコミュニティの具体的な事業について企画を行う。

- ・企画委員長、企画委員（一般会員、団体会員、その他の会員及び産技研職員）

### （会費）

ユーザーズコミュニティの活動に必要な経費に充てるため、会員の皆様には会費のご負担をお願いします。（詳細等は今後検討していきます。）